

高井鴻山 たかゐり 儒者。文化二年信濃國上高井郡小布施村^{さいせ}生れ、明治
十二年二月六日歿（八六一三）。講徒、字士順、通稱三九郎。文政三
年京に入り儒學、書畫を學び、大保二年江戸へ佐藤一齋に入門、また
國學、蘭學を修めた。明治八年東京の高久義塾を開き漢・英・數の三
科を教授、十二年長野へ歸り開塾。

岩崎長思著 『高井鴻山小傳』（昭和八年五月五日長野・山崎作治刊）、
小布施町教育委員会編 『解説高井鴻山の詩文と小布施文化―高井鴻
山小伝』ひととづいて』（昭和五十四年七月十日市村郁夫刊）、岩崎
小弥次他 『維新の先覚高井鴻山』（昭和五十八年十一月二十四日長野
・高井鴻山翁學術調査委員会）等刊。